

会長就任のご挨拶



日本電気硝子株式会社 取締役会長

森 哲次

Tetsuji Mori

第70回理事会で皆様方のご推薦を受け、会長をお引き受けすることになりました。まさに激動と言うべき昨今の日本経済ですが、そのような時こそ、当フォーラムへの期待が高まるものと存じます。会員の皆様のご意向を承り、学会諸先生方のご指導および経済産業省のお力を頂戴しながら、その期待に応えていきたいと存じますので、皆様がたのご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

日本政府が掲げる政権構想の一つに、国際社会との共生を基本とした、環境問題でのリーダーシップと経済成長の維持拡大があります。環境問題では京都議定書の本格的実施開始や7月の洞爺湖サミットを迎えて、環境保護意識は過去に例をみないほどに高まり、産官民の協力により二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。非常に高い目標を掲げていますので、達成するには大変な努力と新しい技術が必要となってくるでしょう。一方、経済活動のグローバル化が進行する中で、国をあげて生き残りに心血を注いでいるところです。そのために最も重要なものはやはり長期展望にたつ優れた技術力です。それがあればどんなに環境が変化しようと適用し、高い価値のある製品を供給することによって生き残ることができます。

当フォーラムは、ニューガラスに関する技術調査と研究開発を通じて、産業の発展、国民の生活向上、および国際経済の反映に寄与することを目的としております。現在進めている国家プロジェクトに加えて、新たなプロジェクトの立ち上げに取り組んでいますが、これらはそれぞれ環境と新製品に関わる新しい技術を世界に先駆けて開発しようというも

ので、まさに時代が求めているといっても過言ではありません。

まず、環境関連では、今年度から5年計画で行われる「革新的溶融プロセス技術開発」で、これは過去3年間に及ぶNEDO先導研究の結果を受けて新しく国家プロジェクトになりました。これまでに無い全く新しいプロセスを考案して、ガラス溶融の大幅なエネルギー削減と時間短縮を達成し、結果として二酸化炭素排出量を削減するもので、先般、策定された「Cool earth－エネルギー革新技術計画」の一翼を担うものです。

次に製品関連では本年度で3年目に入る「三次元光デバイス高効率製造技術」です。透明な等方性物質であることの特徴をいかした新ガラス材料と新プロセスを開発し、光デバイスの高効率製造を目標としています。これまで順調に進行して来ましたが、さらにスピードアップして大きな成果を生むものと期待しております。

当フォーラムの役割はこれらに留まるものではなく、セミナー開催や機関紙発行などの地道な活動を通じて社会に役立つことも非常に重要であります。なかでも国際ガラスデータベース“InterGlad”は世界のガラス研究者・技術者の開発ツールとしてご利用いただいておりますが、バージョンアップを行い、さらに便利にご利用いただくよう改善を進めてまいります。

社会の期待と要請は非常に大きなものであります。その責任は身に余る大きさですが、しっかりと果たしてまいる所存ですので、皆様方のご支援を賜りますよう再度お願いし、就任の挨拶に代えさせていただきます。